

場合は null を返す。

string IPharmacist.WholeNameInKana [get;] (メッセージ作成時実装不要)
薬剤部モニタでオーダーの送信処理を行なった薬剤師の姓名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPharmacist.FamilyName [get;]
薬剤部モニタでオーダーの送信処理を行なった薬剤師の姓(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPharmacist.FamilyNameInKana [get;]
薬剤部モニタでオーダーの送信処理を行なった薬剤師の姓(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPharmacist.GivenName [get;]
薬剤部モニタでオーダーの送信処理を行なった薬剤師の名(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPharmacist.GivenNameInKana [get;]
薬剤部モニタでオーダーの送信処理を行なった薬剤師の名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

2. オーダー取り消しメッセージ用インターフェース

オーダー削除用メッセージのペイロードを設定するためのインターフェース。削除の対象となるオーダー情報を指定する Payload 用メッセージインターフェース `IAbortedOrder` と、削除の実行者情報を指定する、ControlAct 用メッセージインターフェース `IActStatusUpdateControlAct` の 2 つのインターフェースを使用する。

2.1. 削除対象オーダー情報

削除・取り消し対象となるオーダーを識別するための情報。

2.1.1. 削除対象オーダーID

■定義

削除対象のオーダーを一意に識別する ID。

■現行対応項目:

- オーダーNo (ORDERCTL_7、ORDERYAK_6、ORDERYOH_2、ORDERSIJ_2)

■インターフェース

string IAbortedOrder.Id [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.RootUId [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.IdIssuingAuthorityName [get;]

削除対象オーダーID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

2.1.2. 削除対象オーダー日時

■定義

削除対象のオーダーの作成日時。秒まで指定可能。

■現行対応項目:

- タイムスタンプ (ORDERCTL_7、ORDERYAK_6、ORDERYOH_2、ORDERSIJ_2)

■インターフェース

DateTime IAbortedOrder.DateTime [get;]

削除対象オーダーの作成日時を取得する。値がない場合には new DateTime() を返す。

2.1.3. 削除対象オーダー患者情報

■定義

削除対象オーダーが対象とする患者を一意に識別する ID。

■現行対応項目:

- 患者番号 (ORDERCTL_2、ORDERYAK_1、ORDERYOH_27、ORDERSIJ_10)

■インターフェース

string IAbortedOrder.PatientId [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの患者 ID(Extension)を取得する。患者 ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.PatientRootUid [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの患者 ID(RootUID)を取得する。患者 ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.PatientIdIssuingAuthorityName [get;]

削除対象オーダーの患者 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

2.1.4. 削除対象オーダー医師情報

■定義

削除対象オーダーの作成医師を一意に識別する ID。オーダーの取り消しを実施した医師ではないことに注意。

■現行対応項目:

- 入力医師コード (ORDERCTL_15)

■インターフェース

string IAbortedOrder.PhysicianId [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの作成医師 ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.PhysicianRootUid [get;] (HL7 必須属性)

削除対象オーダーの作成医師 ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IAbortedOrder.PhysicianIdIssuingAuthorityName [get;]

削除対象オーダーの作成医師 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

2.2. 取り消し実施情報

オーダー取り消しメッセージの ControlAct に設定される、取り消し実施情報を指定する。

2.2.1. ControlAct の MoodCode 情報

■定義

ControlAct の MoodCode を指定する。

■現行対応項目:

- 対応項目なし。

■インターフェース

object IActStatusUpdateControlAct.MoodCode [get;] (HL7 必須属性)

ControlAct の MoodCode。値を持たない場合には null を返す (IControlActBase から継承)。

処方オーダーの状態変更メッセージの場合、常に

Nori.HL7.Version3.VocabularyDomains.ActMood.Singleton.EventOccurrence; (EVN) を指定。

2.2.2. 取り消し実行者情報

■定義

処方オーダーの取り消しを実施した医師を一意に識別する ID。

■現行対応項目:

- 入力医師コード (ORDERCTL_15)

■インターフェース

string IActStatusUpdateControlAct.PerformerId [get;] (HL7 必須属性)
削除オーダーの実行医師 ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IActStatusUpdateControlAct.PerformerRootUid [get;] (HL7 必須属性)

削除オーダーの実行医師 ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IActStatusUpdateControlAct.PerformerIdIssuingAuthorityName [get;]

削除オーダーの実行医師 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

2.2.3. 取り消し実行日時情報

■定義

削除オーダーの作成日時。秒まで指定可能。

■現行対応項目:

- タイムスタンプ (ORDERCTL_7、ORDERYAK_6、ORDERYOH_2、ORDERSIJ_2)

■インターフェース

DateTime IActStatusUpdateControlAct.PerformDateTime [get;]

削除オーダーの作成日時を取得する。値がない場合には new DateTime() を返す。

3. マッピングされない項目

現行のデータベースに存在する項目で、メッセージとしてマッピングされない項目は以下のとおりである。

- 削除フラグ(OORDERCTL_1)
削除通知メッセージとして表現されるため不要。
- 修正回数 (OORDERCTL_8、ORDERYAK_7、ORDERYOH_3、ORDERSIJ_3)
メッセージでは直接表現しない。修正元 Act を辿ることにより求めることは可能。もしユニークな ID 付けのためだけに必要であれば、修正時の版が識別できるような ID 付けをすればよい。
- 修正最新レコード F (OORDERCTL_10)
メッセージの状態に対応してメッセージが保存されるフォルダ(Active or Abort)によって識別。
- 会計登録サイン (OORDERCTL_11)
メッセージインタラクション (事後入力) として区別。
- 処方箋印刷済み区分 (OORDERCTL_22)
制御情報であるためメッセージ中では表現しない。
- 会計締切りサイン (OORDERCTL_31)
制御情報であるため、メッセージ中には表現しない。
- 処方 Do 区分 (OORDERCTL_32)
クライアントで管理すべき情報であるため、メッセージ中には表現しない。
- 薬剤情報提供料加算有無 (OORDERCTL_35)
薬剤情報提供の有無 (OORDERCTL_13) に統一
- 修正依頼指示 (OORDERCTL_38)
制御情報であるため、メッセージ中には表現しない。
- 処方箋印刷時間 (OORDERCTL_40)
ユヤマ宛メッセージのメッセージ作成時間として表現。
- 容器数 (新規追加)
オーダーメッセージに入れるべき情報ではないためメッセージ中には表現しない。
- 回数回数区分 (ORDERYOH_11)
回数は内服頓用時には、1 回量と総量として表現され、また外用時には、投薬者へのコメントとして記載されるため、必要ない。

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）
総合研究報告書

電子カルテの相互運用に向けた HL7 メッセージの開発および
管理・流通手法に関する研究

資料 13 セット処方メッセージ HL7RIM マッピング

セット処方メッセージ HL7 RIM マッピング

2004.07.028

1. マッピング

新処方システムのために、現行システムで使用されている項目から、不要項目の洗い出しを行なったものに対し、HL7 V3 セット処方マスタメッセージにマッピングした。

1.1 セット処方メッセージへのマッピング

セット処方使用可能医師情報

項目番号	項目名	マッピング
RPSETCTL_7	医師コード	CMET:R_AssignedPerson.assignedPerson.id セット処方使用可能医師: participationType="AUT"

セット処方使用可能診療科情報

項目番号	項目名	マッピング
RPSETCTL_3 RPSETYAK_3 RPSETYOH_3 RPSETSIJ_3	科コード	OrderSetHeader に Author として関連する CMET:R_AssignedOrganization.id.extention

セット処方管理情報

項目番号	項目名	マッピング
RPSETCTL_1 RPSETYAK_1 RPSETYOH_1 RPSETSIJ_1	セット区分	項目内容：医師、診療科、共通 PrescriptionHeader に author として参加する R_AssignedPerson（医師）のみ存在する場合を”医師” または R_AssignedOrganizatou のみ存在する場合を”診療科”、どちらも存在しない場合を”共通”と考える。
RPSETCTL_4 RPSETYAK_4 RPSETYOH_4 RPSETSIJ_4	セットNo	PrescriptionHeader.id
RPSETCTL_6 RPSETYAK_6	セット名称	PrescriptionHeader.title

RPSETYOH_6		
RPSETSIJ_6		

セット処方薬剤情報

項目番号	項目名	マッピング
RPSETYAK_5	剤 No.	OrderSetHeader と MedicationAdministrationRequest をつなぐ ActRelationship(comp)の sequenceNumber.
RPSETYAK_6	剤内シーケンス	MedicationAdministrationRequest 同士をつなぐ ActRelationship(comp)の sequenceNumber.
RPSETYAK_7	薬品コード	CMET MaterialMedProduct の Medicine.code (CE)
RPSETYAK_8	処方数量	内服：1 日量 外用：全量 頓服：1 回量
RPSETYAK_9	単位区分（薬価・力価・包装）	それぞれの単位を別々に書く。 下の単位コード参照。
RPSETYAK_10	単位コード	薬価：Medicine.quantity.unit (CS) 力価：IngredientStrength.quantity(RTO<PQ,PQ>)の分子の PQ の unit (CS)。 包装：PackOf.quantity.unit(RTO<PQ,PQ>)の分子の PQ の unit (CS)。 実際に使われているのは薬価のみ。
RPSETYAK_13	粉碎サイン	指定なし、分割指定あり、粉碎指定あり。 MedicationSupplyInstruction.code (CD) 薬を出す人への指示。

セット処方用法情報

項目番号	項目名	マッピング
RPSETYOH_7	用法区分 (定時／不均等／頓用／注射／自己注)	内服（定時、不均等、頓用） 外用（①、②） 自己注 は、MedicationAdministrationRequest.routeCode(CE)で区分。 内服の中での、定時、不均等、頓用の区別。 定時＝サブ MedicationAdministrationRequest 内の doseQuantity が一定 不均等＝doseQuantity が一定ではない

		頓用=サブ MedicationAdministrationRequest なし
RPSETYOH_8 RPSETYOH_9	コード 1(分 3 朝・ 昼・夕など)	MedicationAdministrationInstruction.code.(CD)
RPSETYOH_10	1日分量	MedicationAdministrationRequest.comp で1日分量の個数分の、MedicationAdministrationRequest を持つ。
RPSETYOH_11	用法名称	1 薬剤に対応する MedicationAdministrationRequest の MedicationAdministrationRequest.text 用法コードから機械的に編集され作成される。
RPSETYOH_11	用法コード	各処方項目に対応する MedicationAdministrationRequest に関連する MedicationAdministrationInstruction の code ボキャブラリドメイン ActCode で定義されるコード化値。 値集合: ClinicalDrugUsageCode を定義。
RPSETYOH_12	回数回数区分	必要なし
RPSETYOH_13	処方日数または回数	日数: MedicationAdministrationRequest.effectiveTime に IVL<TS>および MedicationSupply.expectedUseTime。 回数: 内服頓用時、1 回量×回数=総量なので、1 回量と総 量として記載。外用時は、全量指定のため、回数は投薬者へ のコメントとして MedicationAdministrationInstructions.text に記載。 内服定期: 日数 内服不定期: 日数 内服頓用: 回数 (全量) 外用: 全量のみ (回数も入力可) 自己注: 全量のみ (日数も回数も入力なし)
RPSETYOH_14 ~23	不均等投与 1~10	MedicationAdministrationRequest に component で関連す る MedicationAdministrationRequest の doseQuantity
RPSETYOH_28	Mix 指示	MedicationSupplyInstructions.code (CD) MIX 指示、経管チューブ オーダー用法単位 (Rp 単位) の指示であるが、その Rp 内 に含まれる各 MedicationSupply について、薬局に対する指 示として MedicationSupplyInstructions として表現。
RPSETYOH_29	隔日指示	MedicationAdministrationInstructions.code (CD)
RPSETSIJ_7	指示種別	患者: MedicationAdministrationInstructions 薬局: MedicationSupplyInstructions
RPSETSIJ_8	指示コード	例えば Mix 指示や粉碎指示などの場合は決められたコード が入る。指示の自由入力の場合はコードなし。

		患者：MedicationAdministrationInstructions.code (CD) 薬局：MedicationSupplyInstructions.code (CD)
RPSETSIJ_9	指示コメント	患者：MedicationAdministrationInstructions.text 薬局：MedicationSupplyInstructions.text

1.2 RegistryControlAct へのマッピング

項目番号	項目名	マッピング
YAKUHIN_91	作成医師	AssignedPerson.id ControlActProcess に Participation で関連する CMET:R_AssignedPerson.AssignedPerson の id 属性として表現。
YAKUHIN_63	タイムスタンプ	dataEnterer.time(IVL<TS>)

1.3 削除項目

項目番号	項目名	マッピング
RPSETCTL_5	表示順	

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）
総合研究報告書

電子カルテの相互運用に向けた HL7 メッセージの開発および
管理・流通手法に関する研究

資料 14 セット処方メッセージインターフェース仕様書

1. 処方オーダーメッセージ用インターフェース

処方オーダーメッセージのインターフェース定義の詳細を示す。インターフェース定義において、「HL7 必須属性」「HL7 必須関連」は、この値が存在しない(null)場合、メッセージ生成時に例外(Nori.HL7.Version3.Exceptions.MessageException)が発生することを示す。また、インターフェースの中には、メッセージ作成時には使用されず、メッセージから値を取得する際にのみ使用されるものがある。そのようなインターフェースには、「メッセージ作成時には実装不要」と明記している。これらのインターフェースは、戻り値が参照型の場合 null を返すように、値型の場合は引数無しのコンストラクタで生成される値を返すように実装する。参考として HL7V3 メッセージへのマッピングの詳細を示すが、インターフェースを使用する限り、マッピングの詳細を意識する必要はない。

1.1. セット処方使用可能医師情報

セット処方使用可能医師情報。

1.1.1. セット処方使用可能医師 ID

■定義

セット処方使用可能医師を一意に識別する ID。医師 ID と、病院情報システムのユーザ ID の 2 種類の ID を使用可能。

■現行対応項目:

- 医師コード (RPSETCTL_7)

■インターフェース

string IPhysician.Id [get;] (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師 ID(Extension)を取得する。セット処方使用可能医師 ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IPhysician.RootUId [get;] (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師 ID(RootUID)を取得する。セット処方使用可能医師 ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IPhysician.IdIssuingAuthorityName [get;]

セット処方使用可能医師 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

string IPhysician.UserId [get;] (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザ ID(Extension)を取得する。ユーザ ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IPhysician.UserRootUId [get;] (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザ ID(RootUID)を取得する。ユーザ ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IPhysician.UserIdIssuingAuthorityName [get;]

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザの ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.1.2. セット処方使用可能医師氏名

■定義

セット処方使用可能医師氏名。漢字氏名とカナ氏名を姓、名に分けて表現する。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

string IPhysician.WholeName [get;] (メッセージ作成時実装不要)

セット処方使用可能医師の姓名(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPhysician.WholeNameInKana [get;] (メッセージ作成時実装不要)

セット処方使用可能医師の姓名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPhysician.FamilyName [get;]

セット処方使用可能医師の姓(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPhysician.FamilyNameInKana [get;]

セット処方使用可能医師の姓(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPhysician.GivenName [get;]

セット処方使用可能医師の名(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

string IPhysician.GivenNameInKana [get;]

セット処方使用可能医師の名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

1.2. セット処方使用可能診療科情報

セット処方使用可能診療科情報

1.2.1. 診療科 ID

■定義

セット処方を使用することができる診療科。

■現行対応項目:

- 科コード (RPSETCTL_3、RPSETYAK_3、RPSETYOH_3、RPSETSJIJ_3)

■インターフェース

string IDepartment.Id [get;]

セット処方使用可能診療科 ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。DepartmentId と DepartmentRootUid の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

string IDepartment.RootUid [get;]

セット処方使用可能診療科 ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。DepartmentId と DepartmentRootUid の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

string IDepartment.IdIssuingAuthorityName [get;]

セット処方使用可能診療科 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.2.2. 診療科名

■定義

診療科名称。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェイス

string IDepartment.Name [get;]

セット処方使用可能診療科の名称を取得する。名称を持たない場合には **null** を返す。

1.3. セット処方情報

セット処方全体に関する情報を表現する。

1.3.1. セット処方番号

■定義

セット処方を一意に識別するための番号。

■現行対応項目:

- セット処方番号 (RPSETCTL_4、RPSETYAK_4、RPSETYOH_4、RPSETSIJ_4)

■インターフェース

string IPrescriptionTemplate.Id [get;] (HL7 必須属性)

セット処方番号(Extension)を取得する。セット処方番号(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IPrescriptionTemplate.RootUid [get;] (HL7 必須属性)

セット処方番号(RootUID)を取得する。セット処方番号(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IPrescriptionTemplate.IdIssuingAuthorityName [get;]

セット処方番号の ID 発行機関名称を取得する。セット処方番号発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.3.2. セット処方状態区分

■定義

セット処方の状態を示す。

セット処方の新規追加、更新 : active

セット処方の削除 : nullified

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

object IPrescriptionTemplate.Status [get;] (HL7 必須属性)

セット処方の状態コードを取得する。対応するボキャブラリドメインは
Nori.HL7.Version3.VocabularyDomain.ActStatus
で、実際の型は CS 型である。

1.3.3. セット処方名

■定義

セット処方の名前。

■現行対応項目:

- セット名称 (RPSETCTL_6、RPSETYAK_6、RPSETYOH_6、RPSETSIJ_6)

■インターフェース

string IPrescriptionTemplate.Name [get;]

セット処方をの名前を取得する。値がない場合には null を返す。

1.3.4. セット処方テキスト

■定義

セット処方のテキスト表現。人が見て理解するために提供される。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

string IPrescriptionTemplate.Text [get;]

セット処方のテキスト表現を取得する。値がない場合には null を返す。

1.3.5. 調剤指示コメント

■定義

セット処方全体の調剤(薬局向け)に対するフリーテキストによる指示コメント。

■現行対応項目: